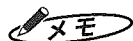
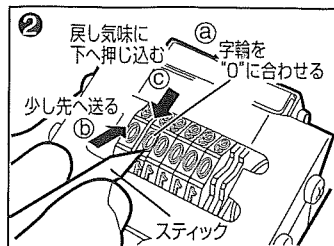


### 3. 不要な桁の削除のしかた (使わない桁をblankにできます)

① ハンドルを押し下げ、固定レバーをスライドさせます。(2-①図参照)

② 付属のスティックで不要な桁を  
Ⓐ "0"に合わせ、Ⓔ少し先へ送り、  
Ⓒ戻し気味に下へ押し込むと、字輪が  
1段下がり印字しくなくなります。



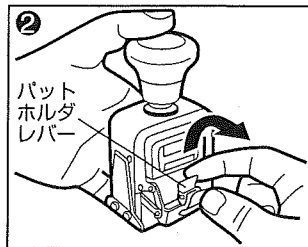
※1の位は下がりません。

※桁が繰り上がると自動的に1が出ます。

### 4. インクの補充のしかた (印字がうすくなったら…)

① ハンドルを押し下げ、固定レバーをスライドさせます。(2-①図参照)

② パットホルダーレバーをつまみ、  
上方向に取り外します。  
パットに付属のインクを補充します。



#### ⚠ 注意

補充インクは別売りのマックス ナンバリング/ロータリーチェックライタ用インク NR-20をお使いください。ゴム印用のインクなどを使用しますと字輪が腐食したり、固着して故障の原因となります。

※パッドがへこんできますと印字ムラが出ます。別売のパッドをご購入ください。

N-IP10 : NR-404、504

N-IP20 : NR-505G、607系、60F、705、707系、801、807系

N-IP30 : NR-1007、1103、1107、1203、1405

#### ⚠ 注意

- 字輪は逆には回りません、無理に回すと故障の原因となります。
- 金属などの棒で回そうとすると字輪が欠けたりする場合があります。
- 必ずマックスナンバリング・ロータリーチェックライタ専用インクをご使用ください。ゴム印用スタンピングインクは使用できません。金属部が腐蝕したり、インクが固まり故障の原因となります。
- インクを塗布する場合は必ずパットホルダーを取り外してからパットに充填してください。直接字輪に付けたりすると故障の原因になります。
- 付属のインクはマックス ナンバリング以外にはご使用しないでください。また、口に入れたりしないでください。目や皮膚に付いた場合はすぐに洗い流してください。
- インクは過剰に充填しないでください。補充しすぎた場合はティッシュなどで吸い取ってください。
- 金属などに捺印しないでください。故障の原因になります。
- 落下や設備などへの組み込みによる使用は変形、故障の原因になります。そのような使い方はしないでください。

〈お客様ご相談ダイヤル〉

**0120-510-200**

(受付時間) 月曜～金曜：午前9時～午後6時  
(祝日・年末年始・当社指定休日を除く)

**マックス株式会社**

東京都中央区日本橋箱崎町6-6

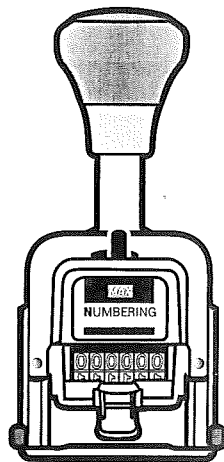
<http://www.max-ltd.co.jp/>

2008.11 Vol.1

**MAX**<sup>®</sup>

マックス  
ナンバリング

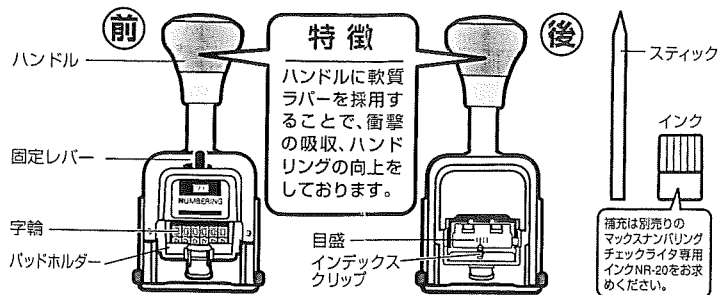
取扱説明書



このたびは、マックスナンバリングをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に必ず本紙をお読みください。

## 各部の名称

※NR-60Fはレバーがあり外觀が異なります。



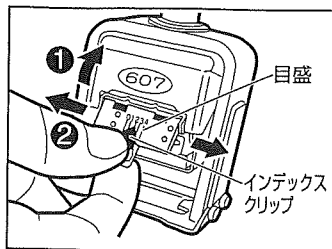
## 使用方法

### 1. 連続印字の決め方 (同じ数字を決めた回数印字できます)

数字を繰り上げるタイミングを決めます。目盛と連続の内容は以下になっています。機種の様式により目盛は異なりますので、各機種の箱に記載されている様式をご覧ください。

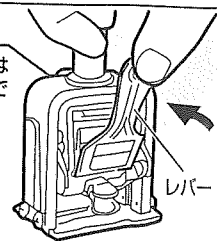
目盛位置	数字繰り上げのタイミング	対応様式
0	1→1→1→... 繰り上げしません	3,4,5,7,9
1	1→2→3→... 1回ごとに繰り上げます	1,3,4,5,7,9
2	1→1→2→... 2回ごとに繰り上げます	3,4,5,7,9
3	1→1→1→2→... 3回ごとに繰り上げます	4,5,7,9
4	1→1→1→1→2→... 4回ごとに繰り上げます	7,9
5	1→(5回)→1→2→... 5回ごとに繰り上げます	9
6	1→(6回)→1→2→... 6回ごとに繰り上げます	5,7,9
12	1→(12回)→1→2→... 12回ごとに繰り上げます	7,9
20	1→(20回)→1→2→... 20回ごとに繰り上げます	9
レバー式	レバーを握るごとに繰り上げます (NR-60F)	

- ① インデックスクリップをつまみ上げ、
- ② 左右にスライドさせて目盛を合わせます。



### NR-60F

※レバー式は図の操作で繰り上げます。



### 2. 数字の合わせ方

(印字したい数字を付属のスティックで字輪を強制的に回して合わせられます)

- ① ハンドルを押し下げ、固定レバーをスライドさせます。
- ② 付属のスティックで数字を0→1→2と正回転で動かします。



### 注意

- 字輪は逆には回りません、無理に回すと故障の原因となります。
- 金属などの棒で回そうとすると字輪が欠けたりする場合があります。

### メモ

数字を合わせ、ハンドルを戻し、実際に打つときには1回分とカウントするので、実際に打ちたい手前の数字に合わせ、数回の実打で調整する方法をおすすめします。

